

資料2

日本茶・宇治茶の世界遺産登録の可能性



日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録可能性検討委員会

平成23年7月22日

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録に向けて

経 過

平成23年1月14日	茶業会議所への協力依頼
1月14日～25日	6市7町1村への訪問・協力依頼
1月21日～26日	6茶道家元への訪問・協力要請
4月12日	文化庁との協議
）	専門家による助言
5月16日	文化庁との協議
6月16日	市町村説明会

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録に向けて 〈 検討すべき事項 〉

- 価値

～顕著な普遍的価値：完全性・真正性(資料1の4ページ参照)～

- ストーリー

生産流通

結びつけるストーリー

文化

資産候補(案)

	生産流通	結びつけるストーリー	文化	資産候補(案)
平安時代			9世紀初め 嵯峨天皇、遣唐使、団茶(餅茶)	
鎌倉時代	臨濟宗 栄西 点茶(抹茶)法、「喫茶養生記」 13世紀前半 宇治に栽培法伝える(梶尾高山寺 明恵上人) 本茶(高尾)と非茶(宇治等) 茶産地が広がる(畿内から駿河、関東へ)		禅宗	高山寺 建仁寺
室町時代	14世紀後半 宇治七銘園開かせる(足利義満) 15世紀後半 日本一の高級茶産地へ(本茶の評価上回る)	茶香服を通じた産地への興味 武家や貴族の庇護による茶園	14世紀前半 闘茶(茶香服) 唐物茶道具 東山文化(足利義政) 禅の精神 15世紀後半 侘び茶 村田珠光	「奥の山」茶園 銀閣寺(東求堂)
安土桃山時代	御茶頭取 森家、上林家 16世紀後半 覆下茶栽培開始(宇治のみ許可、碾茶) 宇治茶の名声而知れ渡る	朱印状による宇治茶の保護 利休消息	武野紹鷗(堺) 町衆の茶の湯 茶道の原型、茶匠の誕生 茶室、茶道具、点前、懐石、精神性 16世紀半ば 織田信長(名物狩り、茶の湯御政道) 16世紀後半 豊臣秀吉(武家の茶の湯) 千利休が茶の湯を完成、茶道の基礎 正親町天皇(利休の名を賜る)	上林家 大徳寺(大茶会) 北野天満宮(大茶会) 覆下茶園 大徳寺聚光院(利休の墓) 妙喜庵(待庵:国宝茶室)
江戸時代	宇治茶の権威づけと高級イメージの定着 高級茶の揺るぎない地位の確立 18世紀前半 永谷宗円 煎茶製法の開発 日本茶の主流へ 売茶翁 煎茶の普及に大きな役割、全国各地へ拡大 山本嘉兵衛 宇治製法普及と名声高める 19世紀前半 宇治茶製法により、覆下茶園から玉露が誕生	上林家に献上茶と将軍家用高級茶を作らせる(徳川家光) 宇治探茶使、御茶壺道中(250年間続く) 有力大名の庇護による茶園 山本嘉兵衛による江戸での販売	古田織部 利休の晩年に師事 天下一の茶の湯の宗匠と認められる 小堀遠州 綺麗さび 徳川家光への献茶 将軍家茶道師範の地位獲得 表千家、裏千家、武者小路千家さらに 遠州流、石州流等の流派生まれる	黄檗山 萬福寺 建物:重要文化財 敷地:府史跡 龍光院蜜庵 大徳寺孤蓬庵 朝日焼窯跡 永谷宗円生家(焙炉跡) 茶宗明神社 煎茶茶園
明治時代以降	将軍家と宇治茶師との断絶 茶道の衰退、碾茶需要の減少 アメリカに向けた輸出 岡倉天心「THE BOOK OF TEA」を出版 宇治で茶の旨味成分テアニンの発見	将軍家等の武家の消滅 経済人による庇護	裏千家茶道の再興、 女子の教養(茶道の大衆化) 米国独立百年フィラデルフィア記念万国博覧会 千玄室「国連親善大使」の称号受ける	茶問屋街

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録に向けて

〈 検討すべき事項 〉

- 資産のコンセプト

～顕著な普遍的価値をもつ不動産(資料1の2ページ参照)～

- 資産候補
宇治及びその周辺地域

京都及びその周辺地域

(参考)

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録に向けて

構成資産の保護

◆重要文化的景観（文化財保護法、景観法、都市計画法）

「宇治の文化的景観」平成21年選定

白川地区(里山に広がる茶園)と黄檗地区(煎茶文化発信地)の追加申出へ

◆文化的景観(京都府文化財保護条例)

「和束町の茶畑」平成20年選定

和束町茶畑景観条例の制定へ

◆国宝、重要文化財、特別史跡、特別名勝等(文化財保護法)

国宝：密庵、待庵

重要文化財：大徳寺弧蓬庵、高台寺時雨亭、今日庵 等

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録に向けて

〈 検討すべき事項 〉

今後の進め方(1)

本 日

- ・「可能性検討委員会」及び「調査研究部会」の設置(本日)

8月以降

- ・調査研究部会員が分担し、専門家の立場から意見をいただく
- ・いただいた意見をもとに調査研究部会の議論を重ね、価値とストーリーを検討
- ・一定の結論をもとに、可能であれば提案書素案の形に取りまとめる
- ・行政サイドで保全計画について協議・検討し、調査研究部会から意見をいただき提案書素案に追加

世界遺産条約採択40周年記念イベントに向けて

- ・検討委員会において素案を協議・検討し、提案書原案を策定
- ・提案書原案により文化庁に提案

その他

- ・重要文化的景観や重要文化財指定について協議・検討を進める

日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録に向けて

〈 検討すべき事項 〉

今後の進め方(2)

連携体制の整備

- 地域行政連絡会議等を設置
(山城広域振興局、関係市町村等)

気運の醸成

- 地元の盛り上がりが不可欠
(世界遺産に対する理解と協力意識のかん養、相応しい環境づくり)

国内外の関係者の理解促進

- 世界遺産条約採択40周年記念イベントでのPR
(平成24年11月に日本で開催)